

# ポルトガル月報

2019年11月

(本月報は報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

## 【主要ニュース】

【内政】★警察官・治安部隊員による抗議デモ

【外交】★レベロ・デ・ソウザ大統領のイタリア訪問／★UNESCOによる「ポルトガル語の日」制定

【経済】★ウェブ・サミット2019の開催／★2019年第3四半期失業率、6.1%に低下／

★フィッチ社、ポルトガル国債の信用格付を維持／★2019年第3四半期実質GDP成長率、1.9%

## 内政

### ★警察官・治安部隊員による抗議デモ

11月21日、治安警察庁(PSP)及び国家警備隊(GNR)の組合等の呼びかけに応じ、ポルトガル全国から約13,000人の警察官及び治安部隊員がリスボンの共和国議会前に集結し、トロイカ合意の緊縮政策で凍結された給与の改定、賞与の支払、増員、防護具購入、衛生状況の改善等に対する批判を行った。デモ会場には「ゼロ運動(Movimento Zero)」と名乗る明確なリーダーが不在である組織の支持者の数が組合関連参加者の数を上回り、同運動のTシャツを着用し登場した右派ポピュリスト政党のアンドレ・ヴェントウーラ・シェーガ(CH)党首は一部デモ参加者に歓迎され、政治家の中では唯一スピーチを行う機会が与えられた。

### ●議会から選出される国家評議会委員の承認

11月22日、共和国議会は、10月6日の総選挙結果に伴い、新しい議会から選出される国家評議会委員5名を承認した。このうち、4名(カルロス・セザル社会党(PS)党首、フランシスコ・ロウサン前左翼連合(BE)代表、ドミンゴス・アブランテス元ポルトガル共産党(PCP)議員、フランシスコ・ピント・バルセマン元首相(社会民主党(PSD)より選出))は留任で、今次選挙結果により、ルイ・リオ PSD 党首が PSD より新たに選出された。

国家評議会は、憲法上規定された大統領の諮問機関で

あり、大統領、首相、憲法裁判所長官、行政監察官、自治州知事、元大統領、現大統領により任命された5名及び議会から選出された5名で構成されている。

### ●新軍司法警察(PJM)長の就任

11月28日、パウロ・イザベル新軍司法警察(PJM)長の就任式が行われた。

## 外交

### ●コスタ首相が「結束の友首脳会合」に出席

11月5日、コスタ首相は、「結束の友首脳会合(Friends of Cohesion Summit)」に出席するため、ブラハを訪問した。同会合には、EUの17か国(ブルガリア、チェコ、キプロス、クロアチア、エストニア、ギリシャ、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、マルタ、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア及びスペイン)の首脳又は代表が出席し、結束政策の促進を可能とするEU次期多年度財政枠組み(MFF)に関し共通の立場を取ることを目的とした。

### ●ベステアー競争担当欧州委員のポルトガル訪問

11月7日、ウェブ・サミット2019に参加するため、ポルトガルを訪問したベステアー競争担当欧州委員は、コスタ首相と会談し、EU次期多年度財政枠組み(MFF)及び包含的なデジタル移行のための優先的取組に関する意見交換を行った。

## ★レベロ・デ・ソウザ大統領のイタリア訪問

11月11～13日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、イタリアを公式訪問した(ザカリアス外務省欧州担当副大臣同行)。11日、同大統領は、ローマ市内にて法王のファティマ訪問に関する写真展のオープニングに出席した他、ローマのポルトガル大使公邸にて在留ポルトガル人を迎えレセプションを主催した。同日、バチカン公式訪問中のロウレンソ・アンゴラ大統領と会談し、アンゴラの独立44周年に祝意を表した。12日には、マッタレッタ大統領に大統領宮で迎えられた後、議会にてカセラール上院議長と会談し、続いて首相官邸でコンテ首相と会談した。同日にはフィーコ議長との会談も実施され、夜にはマッタレッタ大統領主催晩餐会が開催された。13日には、ボローニャ大学においてスピーチを行い、メロラ・ボローニャ市長と市内を散策した後、マッタレッタ大統領主催の送別セレモニーで公式訪問を締め括った。

## ●サントス・シルヴァ外務大臣がナイロビ・サミットに出席

11月13～14日、サントス・シルヴァ外務大臣は、1994年にカイロで開催された国際人口開発会議(ICPD)25周年記念「ナイロビ・サミット(Nairobi Summit on ICPD25)」に出席するため、ケニアを訪問した。13日、同大臣は、同サミットのハイレベル・パネル・ディスカッションにおいてスピーチを行い、14日には、ポルトガル人企業家と会談した他、ナイロビ大学において「ポルトガル～欧州とアフリカの架け橋」と題した講演を行った。

## ●コスタ首相のスウェーデン訪問

11月14～15日、コスタ首相は、スウェーデンを訪問した。14日、同首相は、ロヴェーン・スウェーデン首相とEU主要機関の新サイクル及び2021年前半のポルトガルのEU議長期間に関し会談し、15日には、進歩同盟(Progressive Alliance)の大会に参加した。

## ●ゴメス・クラヴィーニョ国防大臣のセネガル訪問

11月18～19日、ゴメス・クラヴィーニョ国防大臣は、「第6回アフリカ平和と安全に関するダカール国際フォーラム」に出席するため、セネガルを訪問した。

同フォーラムの-marginにおいて、同大臣は、フランス、セネガル及びギニアビサウの政府代表とそれぞれ会談を行った。

## ●大西洋防衛センターの設立記念国際セミナーの開催

11月21日、ポルトガル国立防衛研究所(IDN)にて、国防省傘下の大西洋防衛センター(CeDa)の設立記念国際セミナーが開催された。同セミナーには、15か国(フランス、英国、スペイン、トーゴ、モロッコ、アンゴラ、ナイジェリア、ブラジル、米国等)から約30名の専門家が参加し、大西洋における国際協力及び安全保障に関する意見交換が行われた。閉会セッションには、ロベール・ドゥセ・トーゴ外務・協力・アフリカ統合大臣が来賓として参加し、ゴメス・クラヴィーニョ国防大臣が閉会の挨拶を行った。

ポルトガル政府は、2018年4月26日に、アソレス諸島テルセイラ島のラージェス空軍基地において「大西洋防衛センター」を設置する旨閣議決定した。同センターは2020年前半よりラージェス空軍基地において大西洋諸国を対象とした研修を開始する予定。

## ★UNESCOによる「ポルトガル語の日」制定

11月25日、UNESCO本部にて、コスタ首相及びポルトガル語圏諸国の代表部大使の出席を得て、UNESCOが5月5日を「ポルトガル語の日」と定めると宣言する式典が実施された。コスタ首相は記者団に対し、今次決定は9か国2億6千3百万人の公用語として話される言葉の国際性が認められた結果であると述べた他、ポルトガル語がインターネットにおいては5番目に多く使用されているとした上で、文化及び科学分野においてもその存在感を増していると指摘した。

## ★コスタ首相のストラスブール訪問

11月25～26日、コスタ首相は、ストラスブールを訪れ、サッソリ欧州議会議長、フォン・デア・ライエン次期欧州委員長らと会談し、EU次期多年度財政枠組み(MFF)及びポルトガルの議長就任期間に関して協議した。25日午後、同首相は、ガルシア社会民主進歩同盟(S&D)代表、ウェーバー欧州人民党グループ(EPP)代表、欧州刷新(RE)のチョロシュ代表と相次いで会談した後、フォン・デア・ライエン次期欧州委員長とのワー

キングディナーに臨んだ。26日には、ランバーツ欧州緑グループ代表、シュミット次期雇用担当欧州委員の他、EUの予算折衝に直接関わるポルトガル選出のマルケス欧州議員及びフェルナンデス欧州議員らと会談した。次期MFFをめぐり、欧州議会が現行の対GDP比1.16%から1.3%への各国分担金引き上げを検討しているのに対し、欧州委員会は1.11%へ、議長国であるフィンランドは1.03~1.08%へ引き下げを主張している。この状況について、コスタ首相は12月の欧州理事会で合意に達することができない可能性に懸念を示した上で、ポルトガルは欧州議会の引き上げ案を支持するとし、欧州経済の先行き不透明さを示す指標が出てきている現状では、現行MFFと次期MFFの間の継続性が重要であると述べた。

今次訪問におけるコスタ首相の一連の会談は、2021年前半のポルトガルのEU議長期間の準備の一環として行われた。

### ●サントス・シルヴァ外務大臣がサントメ・プリンシペ外務大臣と会談

11月27日、サントス・シルヴァ外務大臣は、ポルトガルを訪問中のエルサ・ピント・サントメ・プリンシペ外務大臣と二国間関係及び次期二国間戦略的プログラムについて会談した。

### ●ポルトガルとフランスが欧州宇宙機関（ESA）の共同議長に就任

11月29日、スペインで開催された欧州宇宙機関（ESA）の理事会において、ポルトガルとフランスは、欧州宇宙機関（ESA）の共同議長に就任した。

### ●ポルトガルの国防費支出（対GDP比）、1.43%

11月29日、NATOが公表した資料によると、2018年のポルトガルの国防費支出（対GDP比）は1.43%となった。前年は1.25%、2019年は1.52%の見込みとなっている。

## 経済

### ★ウェブ・サミット2019の開催

11月4~7日、リスボン市東部のオリエンテ地区で世界最大級のテクノロジー関連イベント「ウェブ・サミット2019」が開催され、延べ160か国から7万人以上の

参加者、1200人のスピーカー、11000人の最高経営責任者（CEO）、2150のスタートアップ企業、1500人の投資家等が来場した。4日の開会式には、シザ・ヴィエイラ経済・デジタル移行大臣及びメディーナ・リスボン市長が出席し、7日の閉会式には、レベロ・デ・ソウザ大統領が挨拶を行った。

今般のウェブ・サミットには、富士通社が日本企業初のスポンサー出展を行った他、JETROのJ-Startupブースにおいて16社のスタートアップ企業が出展した。

### ★2019年第3四半期失業率、6.1%に低下

11月6日、ポルトガル国立統計院（INE）は、2019年第3四半期（7-9）の失業率が、6.1%（前期比0.2ポイント減；前年同期比0.6ポイント減）と発表した。失業者数は32万3,400人（前期比1.5%減；前年同期比8.3%減）で、このうち、若年層失業率（15~24歳）は17.9%（前期比0.2ポイント減；前年同期比2.1ポイント減）で、男女別失業率では、男性が5.4%、女性が6.9%。また、地域別失業率では、アソーレス自治州（7.3%）、アレンテージョ地域（7.0%）、マデイラ自治州（6.9%）、北部地域（6.6%）及びリスボン首都圏（6.4%）がポルトガル全土平均を上回り、アルガルヴェ地域（5.3%）及び中部地域（4.8%）は平均を下回った。

### ●欧州委員会による2019年秋期経済見通し

11月7日、欧州委員会は、2019年秋期経済見通しを発表し、ポルトガルの本年の実質GDP成長率を2.0%（前回見通しから0.3ポイント増）と上方修正した。前回5月からの修正は以下のとおり。

(%)	2019年	2020年	2021年
GDP	1.7→2.0	1.7	1.7
民間消費	2.3	1.9→2.0	1.9
政府消費	0.8	0.5→0.8	0.8
設備投資	4.6→6.5	5.0→4.8	5.0
輸出	3.2→2.7	3.5→2.7	2.8
輸入	4.9→4.6	4.6→3.9	4.0
失業率	6.2→6.3	5.7→5.9	5.6
インフレ	1.1→0.3	1.6→1.1	1.4

### ●長期国債の入札

11月9日、ポルトガル国庫公債管理庁（IGCP）は、0年物長期国債として9億7,000万ユーロ分（利回りは0.333%）発行した。落札額は15億8,000万ユーロ（応札倍率1.63倍）となった。

### ●最低賃金の引上げに関する政令の公表

11月21日、2020年の最低賃金を現行の600ユーロから635ユーロに引き上げる旨の政令が官報で公表された。同政令は2020年1月1日から発効する。

### ★フィッチ社、ポルトガル国債の信用格付を維持

11月22日、格付会社フィッチ社は、ポルトガル国債の信用格付を現在の投資適格級の「BBB」、見通しは「ポジティブ」を、それぞれ維持すると発表した。同社は、ポルトガルの政治の安定及び政府の経済・予算政策を評価しつつ、公的及び民間セクターにおける高水準の債務を指摘した。

### ●ポルトガルが3年連続の「世界主要観光地」を受賞

11月28日、オマーンのマスカット市で開催された世界旅行賞（World Travel Awards）の式典で、3年連続でポルトガルが「世界主要観光地（World's Leading Destination）2019」及びリスボン市が「世界主要シティーブレイク（World's Leading City Break Destination）2019」を受賞した他、マデイラ島は5年連続の「世界主要島（World's Leading Island Destination）2019」、Parques de Sintra（シントラ文化財公社）は7年連続の「世界主要文化財保全企業（World's Leading Conservation Company）2019」を受賞した。

### ★2019年第3四半期実質GDP成長率、1.9%

11月29日、ポルトガル国立統計院（INE）は、2019年第3四半期（7-9）の実質GDP成長率を前年同期比1.9%増（前期同様）と発表した。GDP成長率のうち、内需の寄与度は個人消費の伸び及び投資の減少に伴い、前期と同様の3.2%を維持し、外需も、商品・サービスの輸入が輸出を上回ったため、寄与度は前期と同様の▲1.3%となった。

（了）